

サービス概要

対応可能通訳者に順次コール

★通訳者Aが利用者Aの対応中の場合、利用者Bからのコールは通訳者B・通訳者Cのみ呼び出し

★P2Pとは異なる 独自の呼出システム 利用者A

利用者C

者B マッチング・通訳対応中

手話通訳者C

手話通訳者B

対応可能通訳者

手話通訳者A

離席中など、「対応不可」

ステータス時はコールされない

手話巡訳者D

遠隔手話サービスは福祉の施策です



相談窓口など

タブレットやスマートフォンでも対応が可能

通訳者

話し中、通訳者不在の場合は連携する他の通訳者へ転送されます

連携する他の事業者の通訳者

災害時のバックアップに有効

独自のマッチングデータベースとマッチングシステムにより、細かな条件に応じて通訳者と利用者のマッチングを実現したシステムです。



展開事例(設置型手話サービス)

「手話通訳者専用タブレット」を複数設置することにより、手話通訳者未設置(不在時)の窓口を、設置されている窓口によってバックアップすることができます。 さらに行政区外の手話通訳者派遣事業者と連携することも可能です。







設置通訳者が<mark>不在</mark> の支所等

- 1. 設置通訳者が不在、または設置されていない支所等にタブレット(通訳者側)を設置
- 2. 来訪者の了解を得て、タブレットで通訳者を呼び出します
- 通訳者❶、②ともに待機している場合は、あらかじめ設定した順に呼び出します
- 通訳者❶が不在(ログアウト状態)の場合は、②が呼び出されます
- 5. 通訳者❶がログオンしたまま、出られない場合は、10秒後に ②が呼び出されます
- 6. 通訳者❶、②ともに不在、または話し中の場合は、利用者側 の呼び出しボタンがグレーになり呼び出すことができません



展開事例(個人のスマートフォンでの利用)

短時間の対応の急な対応





個人のスマートフォン等を利用して遠隔手話通訳 (従来の派遣の代替ではない) 地域の手話通訳者派遣事業者が実施

日常生活の様々な場面で手話通訳の利用が可能に(QOLの向上)

通訳の派遣が困難な場合



通訳者の派遣が困難な場合

感染が予想される場合など

- ろう者が対面している健聴者との意思疎通のために、 スマホやタブレットにより居住地の市区町村の遠隔 手話通訳を依頼
- 通訳者①が不在(ログアウト状態)の場合は、
 ②が呼び出されます